



神社と四季「春の祈り」



広島県神社庁報

ふたば

二葉

第141号

発行所 広島県神社庁
広島市東区二葉の里
☎ (082) 261-0563
FAX (082) 261-6628



新年度のご挨拶

広島県神社庁

副庁長 渡部 公磨

昨年の春、御代は平成から令和へと改まり国内は明るく穏やかな風が吹き幸福感に包まれていました。

皇室におかれましては、新帝陛下が御即位遊ばされ、即位礼正殿の儀、大嘗祭と一世一代の諸儀式も無事終えられ、あとは秋篠宮殿下の立皇嗣の礼をこの春に控え準備も進められておられました。が、新年早々から全世界は新型コロナウイルス禍に見舞われ、それが今もつて続いている状態です。

しかし、このような状況でも斯界においては、皇室の御安泰をお祈り申し上げ、伊勢の神宮を始め各神社の御神威の発揚を願いつつ、神職として平素の神明奉仕には万全を期し、家庭祭祀の振興に努めたく存じます。

また、神道政治連盟が推薦しておりました「ありむら治子」氏が昨年七月の参議院議員通常選挙において、皆様のお力添えのおかげをもつて高得票にて四回目の当選をされましたこと、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、新年度も始まり広島県神社庁では広島県神社総代連合会を始め、関係諸団体でも、役員会などの重要な会議を開催し今後の方針や施策、年間行事などを諮り執り進めるべきところではございますが、世界中がコロナ禍で天地がひっくり返るような状況の中、「命」を最優先することとし、皆様方には不自由をお掛けいたしております。

最後になりましたが、神社庁の役職員は常に心をひとつにして、諸施策達成のために努力いたす所存でございますので、皆様にはより一層のご支援・ご協力を戴きますようお願い申し上げます。新型コロナウイルス禍が一日も早く終息し、皆様が元通りの暮らしに戻れますよう心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和2年度 神社庁行事予定(案)

実施予定月日		行 事	対 象	主催・担当	場 所
4	17(金)[中止]	教化委員会	教化委員	神社庁	神社庁
	23(火)[中止]	青神会定例総会	青年神職	青年神職会	神社庁
	26(金)[中止]	敬神婦人会役員会	敬神婦人役員	敬神婦人会	神社庁
	23(木)[中止]	第10回神社建築視察研修会	神職	事業委員会	世羅支部内
5	[書面表決]	県総代会役員会	総代会役員	県総代会	神社庁
	[書面表決]	県総代会評議員会	総代会役員・評議員	県総代会	神社庁
	11(月)～15(金)[中止]	第75回中国地区中堅神職研修(乙)	中堅神職	広島県神社庁研修所	神社庁
	2(火)	表彰委員会	表彰委員	神社庁	神社庁
6	4(木)[中止]	神職教養研修会	神職	神社庁研修所	神社庁
	10(水)[中止]	女子神役員会	女子神職	女子神職会	神社庁
	18(木)～19(金)[中止]	初任神職研修(前段)	初任神職	神社庁研修所	神社庁
	23(火)[中止]	女子神祭式研修会	女子神職	女子神職会	神社庁
	26(金)[書面表決]	神社庁役員会	神社庁役員	神社庁	神社庁
	26(金)[書面表決]	神社庁常任協議員会	役員・支部長	神社庁	神社庁
	28(日)[中止]	第9回神社検定	一般	日本文化興隆財団	神社庁
	7/1(水)～8/5(水)[中止]	直階検定講習会(最少催行人員15名以上)	神職子弟他	神社庁研修所	神社庁
7	2(木)	身分選考委員会	身分選考委員	神社庁	神社庁
	18(土)[中止]	祭祀舞研修会(浦安の舞…扇舞)	神職他	神社庁研修所	神社庁
	29(水)	敬神婦人会役員会	敬神婦人	敬神婦人会	神社庁
	8(土)[中止]	祭祀舞研修会(浦安の舞…鈴舞)	神職他	神社庁研修所	神社庁
8	11(火)	教化委員会	教化委員	教化委員会	神社庁
	21(金)[中止]	祭祀舞研修会(朝日舞)	神職	神社庁研修所	神社庁
	27(木)[中止]	第65回広島県神社関係者大会	神職・総代他	神社庁・総代会	県立文化芸術ホール
	5(土)[中止]	神職専門研修会(祭式・衣紋研修会)	神職	教化委員会	広島護國神社
9	8(火)[延期]	全国神社総代会役員会	全国総代会役員	全国総代会	広島市内
	9(水)[延期]	第56回全国神社総代会大会	全国総代会関係者	全国総代会	広島文化学園HBGホール
	11(金)	神職身分認定証交付式	昇級者	神社庁	神社庁
	17(木)～18(金)[中止]	初任神職研修(後段)	初任神職	神社庁研修所	神社庁
	24(木)	神宮大麻暦頒布始奉告祭	役員・支部長	神社庁(沼隈支部)	神社庁
11	9(月)～10(火)	中国地区神社庁職員研修会	中国地区神社庁職員	島根県	島根県
	11(水)	日本書記輪読*朝日舞	女子神職	女子神職会	神社庁
	17(火)	第66回伊勢神宮新穀感謝祭	神職・氏子・崇敬者	神社庁	神宮他
	25(水)	敬神婦人会役員会	敬神婦人	敬神婦人会	未定
12	3(木)	神社実務研修会	神職	神社庁研修所	神社庁
1	13(水)	神社庁歳旦祭	三庁長・神社庁職員	神社庁	神社庁
	未定	神社庁役員会	神社庁役員	神社庁	Hセンター21広島
	未定	神社庁・総代会合同新年互礼会	神社庁・総代会関係者	神社庁・総代会	Hセンター21広島
	25(月)	研修会*互礼会	女子神職	女子神職会	神社庁
	14(日)	神社庁例祭	役員・支部長・神職他	神社庁	神社庁
2	15(月)	敬神役員会	敬神婦人	敬神婦人会	神社庁
	未定	教化常任委員会	教化常任委員	教化委員会	神社庁
	未定	教化委員会	教化委員	教化委員会	神社庁
	18(木)～19(金)	中国地区神社庁連絡会	三庁長・参事	中国地区神社庁	岡山県
	24(水)	女子神祭式研修会	女子神職	女子神職会	神社庁
3	未定	参与会	神社庁参与	神社庁	Hセンター21広島
	4(木)	女子神役員会	女子神職	女子神職会	神社庁
	未定	神宮大麻・暦頒布終了奉告祭	三庁長・神社庁職員	神社庁	神社庁
	未定	神社庁役員会	神社庁役員	神社庁	神社庁
	未定	班斂式・定例協議員会	神社庁役員・協議員	神社庁	神社庁
	10(水)	敬神婦人会役員会	敬神婦人	敬神婦人会	神社庁
	17(水)	女子神総会	女子神職	女子神職会	神社庁
	未定	祭祀舞研修会(朝日舞)	神職	神社庁研修所	神社庁

平成三十一年度(令和元年度)定例協議員会

新型コロナウイルス感染症対策の観点から開催中止

令和二年三月二十五日に開催が予定されていましたが、平成三十一年度(令和元年度)定例協議員会は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、各役員に対し開催の可否並びに常任協議員会への審議委任について、書面審議の結果、開催の中止と審議委任について全役員から「了承する」回答を賜った。

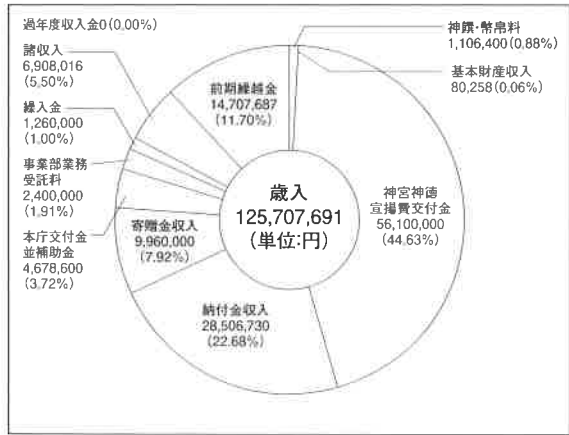
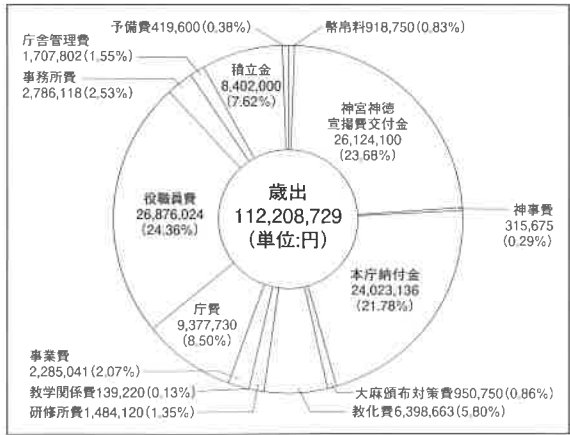
また、審議委任された常任協議員会(六月二十六日開催予定)についても、「非常事態宣言」が解除はされたものの、引続き不要不急な外出や密となる集会等の自粛も求められており、県内の状況や出席者の安全と健康を鑑み、役員会において常任協議員会の開催方法の変更について議決の結果、開催せずに書面決議に変更となった。

尚、議案書の審議については現在、常任協議員で審議中であります。

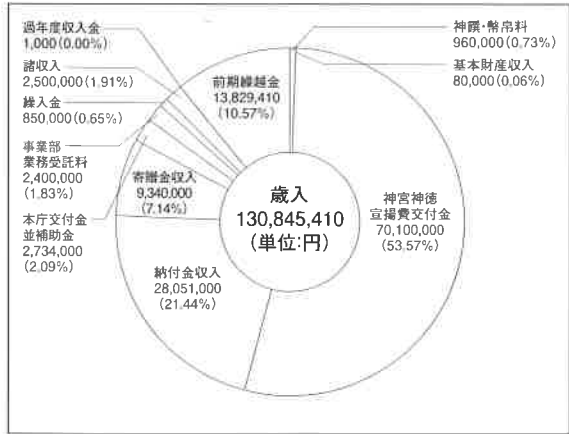
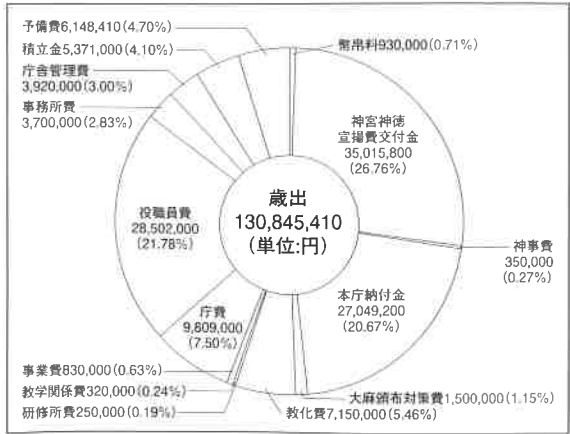
(六月一日現在)

令和二年度 広島県神社庁運営方針(案)

- 一、皇室の歴史と伝統を尊重し、皇室敬慕の発揚に努める。
- 一、神宮大麻全国頒布百五十周年を令和四年に控え、神宮大麻頒布と共にその意義及び啓発に努める。
- 一、少子高齢化に伴う、後継者問題を始めとする県内各神社が抱える諸問題に対応すべく施策の構築に努める。
- 一、将来を見据え、庁舎のあり方並びに支部再編に向けた施策の構築に努める。



平成三十一年度 広島県神社庁 歳入歳出決算表



令和二年度 広島県神社庁 歳入歳出予算表(案)

各委員会の平成三十一年度（令和元年度）活動報告及び令和二年度活動計画

■教化委員会

委員長 櫻井建弥

平成三十一年度（令和元年度） 教化委員会活動報告

- 教化委員会 三回開催
- 教化常任委員会 三回開催
- 中国地区社頭講話研修会主催（山口県） 広島県参加五名
- 中国地区教化会議（鳥取県）三名参加
- 全国教化会議（神社本庁）二名参加

【研修部会】

教養研修会（六月七日）、専門研修会（八月三十一日）、実務研修会（十二月六日）を開催。延べ百十四名参加。専門研修会は三回目となる土曜日祭式研修会。

【奉斎・広報部会】

教化ポスター「みててね、かみさま」千二百枚作成。広島県神社庁ホームページ更新。神宮大麻奉斎テレビCM放送（中国放送にて年末年始四十本）。第四回写真コンテスト。

【調査・研究部会】

過疎地域神社活性化推進施策の指定地域支援（庄原支部・比婆西支部）。不活動神社対策。

令和二年度 教化委員会活動計画

【研修部会】

教養研修会（六月四日開催予定）、専門研修会（九月五日開催予定）、実務研修会（十二月三日開催予定）、専門研修会は土曜日祭式研修会を計画。日本書紀撰上千三百年関連、神社活性化対策等の研修を企画。

【奉斎・広報部会】

教化ポスター作成と広島県神社庁ホームページ更新。神宮大麻奉斎テレビCMの放送。第五回写真コンテスト。令和四年の神宮大麻全国頒布百五十年に向けた増体対策検討。

【調査・研究部会】

過疎地域神社活性化推進施策の指定地域支援活動の継続。神社活性化県内事例の研究。後継者問題の一環として階位検定授与制度の特例措置の周知。不活動神社対策。

■事業委員会

委員長 大巳至通

常日頃より事業部をご利用賜り厚く御礼申し上げます。
まず、元年度の事業報告です。

①神社建築視察研修の実施

庄原支部のご協力により定員一杯のご参加を戴きました。感謝です。
※本年は中止です。

②予算について

元年度は増収減益となりました。
増収や価格改定、講習会中止などにより減益が生じました。

③独自啓発品の企画について。

神宮大麻各神社のお札啓発用看板を作成しました。是非！ご利用を！！
※関係者名簿・事業部広告欄参照

さて新年度（二年度）ですが本年も緊縮予算を執行し黒字決算、利益確保に努めます。

毎年本会計へ繰入金を出していますが、昨年度は減収決算となり毎年本会計へ計上している負担金の繰入が叶いませんでした。理由は、本懐である手数料収入が増税、配送費用などの上昇により激減したことです。業界環境を鑑みますと廃業や合理化の生産中止など目を覆いたくなるような市場も重なり、今後回復への導きは容易ではありません。ただ、お陰様で皆様のご利用は増えています。ありがとうございます。

新型コロナウイルス影響など本年は誰もが「どうなる？」と不安視するところですが、皆様の神社庁を下支えするためにも機会がありましたら、是非ともご利用をお願い申し上げます。

■祭祀委員会

委員長 福場快之

①祭式部会

- 6月20日 初任神職研修会「前段」(十三名)
- 8月31日 祭式研修会「教化委員会主催」広島護國神社(二十七名)
- 9月9・10日 中国地区祭式講師研究会(三名)岡山県神社庁
- 9月26・27日 祭式講師研究会(二名)神社本庁
- 2月14日 神社庁例祭奉仕(二名)

②神道行法部会

- 5月20日 広島県女子神職会(十四名)
- 9月7日 広島県神社庁第八ブロック(十八名)
- 9月12日 広島県青年神職会(二十七名)
- 2月19日 広島工業大学合気道部

③祭祀舞部会

- 7月13日 神社庁研修会浦安の舞「扇」(四十四名)
- 8月3日 神社庁研修会浦安の舞「鈴」(四十九名)
- 8月6日 原爆慰霊祭 浦安の舞奉納(二名)
- 9月12日 第七十回全国敬神婦人大会広島大会 清興(二十九名)

④雅楽部会

- 4月7日 宮崎神社春祭雅楽演奏「賀茂支部」(十名)
- 6月14日 世羅西中学校雅楽指導(三名)
- 10月2日 世羅西中学校雅楽指導(三名)
- 2月5日 重井中学校雅楽指導(三名)
- 2月14日 神社庁例祭奉仕(三名)
- ※毎月一〜二回の稽古を実施(八〜十二名)

祭祀委員会各部会の活動並びに研修会は右記の通りです。

祭祀舞部会の中にある全国敬神婦人大会広島大会では清興として浦安の舞を奉奏するにあたり、多くの方が熱心に稽古を積み重ね、迎えた大会当日は神前で奉仕する気持ちのまま大勢の前で舞う事が出来、全国より参加された面々も感動された様子でした。

広島県神社庁では、昭和六十一年より「浦安の舞」講習会が始まり、当時は参加者も少数でしたが回数を重ねる度に参加者も増え、さらに平成二十四年から中国地区に案内して参加者を募ったところ、現在では他県からの参加者も毎回のようになり、祭祀舞への関心の高さが窺えます。次に、教化委員会的主催する神職専門研修会において、祭式研修会が八

月三十一日(土)に広島護國神社を会場に開催され、暑い中で祭式と衣紋（一人著装と衣紋者）について熱心に研修が成されました。形は注意していても崩れていくのが自然の摂理です。当初、教わった基本動作を確認するために各研修会への参加を希望致します。

■庁報編集委員会

委員長 内田嘉彰

平成三十一年度（令和元年度）事業報告

平成三十一年度（令和元年度）は、左記の編集方針の下、活動いたしました。

- 一、神社庁、神社庁各委員会との連携強化を図り、情報を提供する。
- 二、支部通信委員による各支部、神社の活動、及び各地に伝わる様々な有形、無形の文化財等紹介記事の充実。
- 三、新たなシリーズ企画の推進・充実。

昨年度は、改元という大きな歴史上の出来事がありました。この慶事に関連して数号にわたり潮清史宮司により改元、御践祚をはじめとして様々な皇室関連情報を「寄稿戴いた」わたしたちの皇室」が好評でした。その他についても各方面の協力をいただき、計画通りの日程に沿って遅滞なく充実した内容で発行することが出来ました。

一方で一年を通して「支部だより」をはじめとして様々な方面より結構豊富に情報が寄せられ掲載することができました。

令和二年度編集方針

- 一、神社庁、神社庁各委員会との連携強化を図り、情報を提供する。
- 二、支部通信委員による各支部、神社の活動、及び各地に伝わる様々な有形、無形の文化財等紹介記事の充実。
- 三、シリーズ企画の推進・充実。

充実した内容のためには多くの情報が必要です。広範囲からの情報提供をお願いします。支部通信員の皆様にはより一層の御協力をお願いします。神社と関わりのある他業種からの情報提供も歓迎しますので、ご提案頂きますようお願い致します。

神社庁関係団体 平成三十一年度（令和元年度）活動報告

◆広島県神社総代連合会

会長 中丸元夫

平成三十一年度は、新年度早々の五月一日に「令和」を迎えるという御代替わりがありました。

令和二年を迎えた新春、平穏な年が送れることを念じておりましたが、年度末に至り新型コロナウイルスが発生拡大し、世界規模の危機的な状況となつてまいりました。

このような中にも平成三十一年度（令和元年度）の事業は、皆さんのご協力によりほぼ実施することができました。

しかし新しい年を迎え思わぬ事態が発生したことは、年度末に行う活動報告及び決算等の審議をする役員会・評議員会の会議が出来ず、自宅での書面審議となった事が残念です。

主な活動と参加者数は、次のとおりです。この他に各支部において開催された研修会は十五支部、参加者は一、三二二名でありました。

平成三十一年度（令和元年度）活動報告

4月4～5日	第42回全国神社総代会幹部研修会	二名
5月7日	役員会	十名
5月21日	評議員会	二十三名
8月22日	全国神社総代会代議員会 奉祝 天皇陛下御即位	三名
9月4日	第64回広島県神社関係者大会	一六〇〇名
10月30～31日	第55回全国神社総代会大会	七名（神社庁職員含）
11月26日	広島県神社総代連合会研修会	三十二名
11月17日	第65回伊勢神宮新穀感謝祭	二八九名
	神社庁・総代連合会合同新年互礼会	四十七名

◆広島県青年神職会

会長 内藤善文

昨年度は、御譲位による御代替わりという歴史的な年となり、一年を通して様々な関連行事が行われ、各地で奉祝事業も盛んに行われました。

当会としても、八月三十日に全国一斉に斎行された、神道青年全国協議会主催による天下大祓では、廿日市市宮島町鎮座の厳島神社に於いて、多くの参拝者に見守られる中で厳肅に執行する事が出来ました。当日は多くのマスコミの取材もあり、全国に大嘗祭や大祓の意義を発信できたことは、大変有意義であったと思います。

例年行っている国旗キャンペーンは「天皇陛下御即位奉祝記念事業」として行い、特別なデザインのポケットティッシュを作製配布して、国旗掲揚啓発に努めました。

独自の記念事業としては、十年ぶりに広島県青年神職会皇居勤労奉仕団を結成し、県内各地より会員および先輩諸兄総勢二十四名のご参加を賜り、二月十八日から二十一日の四日間、奉仕を行いました。初日の赤坂御用地での奉仕の際に、天皇陛下の御会釈を賜り、参加者一同恐懼感激しました。

また、臨時の事業として、食協株式会社社の依頼により、東広島市福富町の田圃にて、九月十四日に抜穂祭を奉仕しました。急な依頼だったため、全会員への案内は出来ませんでした。八名もの奉仕を頂き無事祭典を斎行出来ました。

その他、協力事業として、昨年九月に敬神婦人会全国大会が、広島市中区のHBBGホールにて開催され、例年の関係者大会同様、当日の運営補助にあたり、大会の成功に微力ながら協力できました。

しかしながら、昨年末に発生し、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の拡大により、三月に静岡県で行われる予定であった、神道青年全国協議会中央研修会は中止となり、それに伴い神社視察研修も中止となりました。今年度計画されていた事業も、既に中止や延期になるなど、様々な影響が出ています。一刻も早い終息を日々祈りつつ、皆で協力し合つてこの難局を乗り越えてく所存です。

◆広島県女子神職会

会長 渡邊百合枝

平素より当会の諸活動につきまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により当会も諸行事の中止、延期を余儀なくされております。三月開催予定でした総会も議案を役員に書面にて諮り承認を得、会員には資料の送付を以て総会に代えさせていただきますました。このような状況下ではありますが、今年度も行事は例年通り予定し、感染症収束次第速やかに活動を再開できるよう準備しております。

昨年度は、邇保姫神社（渡部公磨宮司）への正式参拝から諸行事が始まり、六月には、当会主管にて「中国地区女子神職研修会」が広島護國神社・饒津神社に於いて開催されました。広島護國神社宮司藤本武則先生、饒津神社宮司浅野和同先生、亀山神社宮司潮清史先生よりご皇室・戦後の広島について貴重な講演を頂戴致しました。

また新たな研修として、広島県神社庁祝詞講師潮康史先生より祝詞の講義を受けました。その他、活動報告は左記の通りでございます。

4月5日	正式参拝（邇保姫神社）	十九名
5月20日	日本書紀輪読・神道行法錬成研修（神社庁）	十四名
6月12・13日	中国地区女子神職研修会（広島市）	二十一名
6月26日	祭式研修会（福場快之講師）（神社庁）	十五名
7月3日	全国女子神職協議会教養研修会（神社本庁）	三名
7月4日	全国女子神職協議会代議員会（神社本庁）	一名
7月7～9日	全国女子神職協議会祭式研修会（神宮道場）	三名
8月22日	広島県神社関係者大会支援（県立文化芸術ホール）	四名
9月5日	教養研修会「日本書紀輪読」（原八重子講師）	十三名
9月12日	祭祀舞研修会「朝日舞」（横田欣子講師）（神社庁）	十三名
10月1日	全国敬神婦人大会広島大会支援	十名
11月8日	（広島文化学園HBBGホール） 会報「もみじ葉」十六号発行	
1月22日	教養研修会「日本書紀輪読」（原八重子講師）	十六名
2月25日	「雅楽」澁谷武宏講師（神社庁） 教養研修会「祝詞」（潮康史講師）（神社庁） 新年互礼会（吉水） 祭式研修会（重白将彦講師）	二十名 二十名 十五名

◆広島県敬神婦人会

会長 吉川明美

日頃より、当会の活動に対しまして、ご理解ご支援を頂きまして、誠に有難うございます。

昨年九月十二日、「奉祝天皇陛下御即位 第七〇回全国敬神婦人大会」が広島県で開催されました。清興の「浦安の舞」で幕を開けました。式典には、鷹司尚武神社本庁統理、小松揮世久神宮大宮司、吉川通泰広島県神社庁長はじめ各県神社庁長、湯崎英彦広島県知事にもご臨席頂き、また山谷えり子参議院議員、有村治子参議院議員も駆けつけて下さいました。

記念講演は桜井よしこ氏により行われ、演題「この国の行方ー日本の在るべき姿ー」の中で、「日本のよき国柄」について分かりやすくお話しを頂きました。一四〇〇人ものお客様を迎え、事故もなく、怪我もなく無事終了できました事は、広島県神社庁はじめ、青年神職会、女子神職会の皆様のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

今年は、五月十一日に予定しておりました第三十八回広島県敬神婦人会総会を、新型コロナウイルス感染予防、自粛の為に残念ながら開催を中止いたしました。

自然災害との闘い、感染症との闘い、日本中、いや世界中どここの地においても他人事ではありません。このような時代こそ神社を中心しに心を寄せて、敬神婦人会の役割を見据えていかなくてはと思っております。今後もできることは何かを考えながら冷静に過ごして参りたいと存じます。

平成三十一年度（令和元年度）の主な活動は次の通りです。

4月26日	第37回広島県敬神婦人会総会	七十名
8月22日	第64回広島県神社関係者大会お手伝い	二十名
9月12日	第70回全国敬神婦人大会「広島大会」三百四十名	
9月18日	日の丸旗資材と、会報「あさなぎ」第八号	
10月～12月	十九単位会へ発送作業（神社庁）	九名
12月2日	日の丸小旗製作（七五〇〇本）	百二十二名
その他	広島県敬神婦人会役員会 福山「都」	十四名
	全国敬神婦人会常任委員会出席	三名
	4月（福島県）	三名
	9月（広島県）	三名
	広島県敬神婦人会役員会（神社庁他）	
	5月・6月・7月・8月・9月・10月・2月・3月	

非公表

非公表

非公表



新任神職紹介(転入・再任含)

非公表

支部だより

山県東支部

「龍山八幡神社の本殿」

山県郡北広島町大朝鎮座の龍山八幡神社(三上一嘉宮司)は、鎌倉後期の正和二年(一一三二)に吉川経高公が駿河国より勧請した神社で、当本殿は室町末期の永禄元年(一五五六)に吉川元春公(小倉山城主後火ノ山初代城主)により再建されたものです。

昭和三十九年七月文化庁より工期一年で解体修理を行い、建立当初の形式に復元された身舎に衣を設けた三間社流造りで彫刻等に地方的特色が表現されています。墓股(かえるまた)や肘木には室町時代の特色がよく示されています。県内で現存する神社再建築としては宮島の嚴島神社に次ぐ古さで、国の重要文化財に指定されています。お近くに来られる事がありましたら是非、神社を訪れてください。



(石橋正敏 通信員)

深安支部

「神辺はね踊り大共演会」

福山城築城四百年の初代藩主水野勝成入封四百年記念行事として、プロジェクト体制がしかれ、神辺町各地区のはね踊りが令和元年十一月十日に神辺文化会館にて披露された。

このはね踊りは、虫追い神事として秋の例祭で行われたもので、戦後一時廃れた地区もあつたが復活し、各地区で境内での奉納、神輿巡幸とともに町内を踊り練り歩いている。今回、神辺の天別豊姫神社、徳田の天満神社、道上の岡山神社、上御領八幡神社、中条八幡神社の氏子達で順次披露された。



(徳永淡路 通信員)

深安支部

「徳田天満神社春祭り」

天満神社(徳永淡路宮司)では例年の春祭りとして、深安地区では、豊作及び産業の繁栄を祈願する祈年祭、戦没者を慰霊し、平和を感謝・祈願する頌徳祭、小学校に入学される児童を対象にこれまでの成長を感謝し、今後の成長を願う勸学祭が執り行われる。

今年は新型コロナウイルスの影響にて、人の集まりが自粛されたので、今回、神社の代表総代のみの参列にて祭典が執行された。コロナ禍の早い収束終息をも祈願した。



(徳永淡路 通信員)

呉支部

「吉浦町戦没者慰霊祭」

呉市吉浦西城町の八幡神社(横田光則宮司)では町内の戦没者の慰霊祭が行われた。境内にある慰霊碑の前で行われるが、当日あいにくの風雨のため八幡神社拝殿にて執り行われた。例年総代・敬神婦人会・崇敬者・遺族・ボーイスカウトが参列して行われるが、コロナウイルス感染予防の為、総代役員のみで少人数で距離をとっての祭典となった。御英霊の妻や子等の遺族が高齢化していくことで慰霊祭を続けていくことが困難になっている。しかし、この町で生まれ育った御英霊達・日本全国の御英霊達の努力があつて、私たちの故郷や日本という国がある。戦争を知る人が少なくなっている今、御英霊達に感謝を捧げ慰霊していくことを決してなくしてはいけない祭と痛感する。みんなが、穏やかに平和な毎日が続くよう、祈りを捧げていきたいと思う。



(横田光則 通信員)

尾道御調支部

「第五ブロック研修会開催」

二月二十六日、尾道御調支部(豊岡高和支部長)は第五ブロック研修会の開催を担当し、神職をはじめ総代など多数のご参加をいただきました。

神道学博士の中道豪一先生からは、貞明皇后や子供たちを事例に東京帝国大学の寛克彦先生が著した「神ながらの道」にみる神道古典との向合い方に関してご講義いただきました。神代の物語が生命の発展していく様子を示した教訓であり、私たちが日々の生活で規範とすべきものとして位置付けられていることを再認識いたしました。

また、尾道市文化振興課学芸員の西井享様からは、尾道市の文化財の現状保護についてご講義いただきました。日本の伝統文化を後世まで残すとともに多くの方々に知っていただくために、日本遺産への登録など、文化財保護活動の重要性を学びました。

今回の研修会は、日本の伝統文化を伝えていく上で、神社の役割に関して考える良い機会となりました。



(郡山龍 通信員)

三次支部

「天皇陛下御即位奉祝 令和元年三次支部大麻暦頒布始奉告祭」

三次支部(佐々木潔支部長)では令和元年十一月十六日、三次市三良坂町灰塚鎮座の宗像神社(佐々木潔宮司)において『天皇陛下御即位奉祝 令和元年三次支部大麻暦頒布始奉告祭』が、近藤茂副支部長を斎主として支部内神職六名により行われた。

会場となった宗像神社では、天皇陛下御即位奉祝の幟旗を新調し祭場を飾り、菅原修司県神社庁監事を来賓に迎え執り行われた。神宮大麻暦は、斎主からの堀江吉興支部奉斎部長に渡され、さらに支部総代連合会奉斎部長の鍛冶屋克光氏により受納された。また、この場で神宮大麻暦頒布活動に貢献された青河八幡神社総代会と、神宮大麻暦頒布向上・神徳宣揚に寄与された知和神社の佐藤功宮司代務者に対して神宮大宮司からの表彰状が授与された。



(福田秀実 通信員)



徳川綱吉公

江戸時代は長く百年に一度は時代の危機や転換点
が訪れましたが、その都
度、先人は知恵を絞り乗
り越えました。渡辺華山
をはじめ江戸時代の人々
は目の前の問題に終始せ
ず、長期的な視点を大切
にしました。貴重な教訓
だと思えます。

(桑原光彦 通信員)

迎える今シーズンも引き続き
指揮を執る城福浩監督は、「タイトル
を粘り強く取りに行く姿勢で臨
み、最後には喜びあいたい」とタイ
トル奪還の決意を語った。

その後、約三百人のファンや幼
稚園児など一般参拝者と選手
が記念撮影を行い、必勝祈願祭
の一連の行事を無事終了した。



編集後記

広島県神社庁・庁報誌「二葉」第141号をお届けします。

現在、世界各国『見えざる敵』との戦いに伴う負の連鎖に出口は見えておりません。一人一人が今出来る
事を行い、1日でも早く何気ない日常に戻れますよう願ってやみません。

今回も発行に御協力頂きました皆様、厚く御礼申し上げます。

庁報編集委員一同

比婆東支部

「祖霊社の春季御霊祭」

三月二十日、庄原市東城町川島鎮座の八幡神社(中島伸顕宮
司)の祖霊社に於いて春季御霊祭が執り行われた。神道家七家が境
内、霊社の清掃と準備を行い、神職三名で御幣などを切り据えた。
午前十時からの祭典では、参列者十二名全員で大祓詞を奏上した。
祭典後、この地域に伝わる結願祭を奉仕され無事全てを齎
した。その後の直会では、撤饌の他に各家から持ち寄った、おにぎり・
漬物めざし等頂きながら、賑やかに和やかに時を過ごした。
当地域に於いても、過疎や限界集落といった問題が深刻さを
増し、新型コロナウイルスの影響で行事が縮小や中止になつて
いる。



そんな中、直会の中で氏子の一人が「皆さん提案があり
ます。八幡さんのお供え餅をこの神道家で搗いてお供えし
ませんか?」と声を上げられ、皆さん
一致で賛同された。

毎年大祭前日に宮司家と関係者で
準備されていたが、氏子減少の中、新し
い協力者が増えた瞬間である。過疎地
域の神社にとって神社の護持・運営が決
して容易い時代とは言い難いが、心の拠
り所として敬神崇祖の誠を捧げている
方々がおられる限り、鎮守の杜が無く
なることはないと思つた。

(磯川浩之 通信員)

支部 だより

世羅郡上津田鎮座の稲生神社(亀
山昭彦宮司)の本殿は広島県の重要
文化財となっています。建立は、江戸
時代の正徳五年(一七一五)で典型的
な芸備造り三間社で、前一間は吹き流
しになっています。前室付平面の造り
は広島県においては十七世紀から十
八世紀にかけて多数造営されこの本
殿はその最盛期に建立されまし
た。装飾性の高い建築で、龍・
獅子・鳳凰・竹・虎の浮き彫
を各所に配置されており、その形態も良好で、細部に地方
色が濃厚に見られ、近世の地域大工層の技術の摂取消化、
そして創意工夫による受容の様態を知るうえで貴重な遺構
であると評価されています。屋根が銅板葺きとなっている他は江戸
時代初期の建築様式をとどめています。

当神社は、大永二年(一五三二)に下津田村大須佐山に京都伏
見稲荷大社を勧請し、永禄十二年(一五六九)の八月に現在の地に
遷座して、社殿を造営したと伝承されています。夜中の遷宮に従う
氏子による松明の行事が県無形民俗文化財指定の「神殿入」と
なつたそうです。暗闇の中で松明や蝋燭の火が明々と光り遠くから
見るととても幻想的です。

これからも一年に一度のこの明かりを絶やさないう氏子の
皆さんと守り続けて行きたいものです。

(藪花慎一 通信員)



府中芦品支部

「本殿屋根替えに伴う仮殿遷座祭」

福山市新市町宮内に鎮座する備後一宮の吉備津神社(追林貴之宮司)では、国指定重要文化財の「本殿」において、文化庁及び広島県・福山市からの補助金を受け半世紀ぶりの保存修理工事(檜皮屋根の葺き替え及び外部内部の塗装)を、令和二年二月十七日に着工し令和三年十二末日竣工の予定で行うこととなりました。



保存修理工事に先立ち、半年前から改修工事をおこなった拝殿(市重要文化財)を仮殿とし、令和二年二月九日夕刻に神職及び総代・氏子の総勢約五十人により仮殿遷座祭

をおこないました。二時間

におよぶ神事によりすべての

「御」が仮殿に鎮まりました。

保存工事は、文化庁の指導により、公益財団法人文化財建造物保存技術協会(Ⅱ文建協)の設計監理のもと、出雲大社の屋根工事なども手掛けた(株)村上社寺工芸社(本社Ⅱ兵庫県丹波市)施工によりおこなわれます。

(尾多賀晴悟 通信員)

安芸高田支部

「歳旦祭と年越しの奉納神楽」

令和二年元旦、郡山城跡の麓、毛利元就ゆかりの安芸高田市吉田町鎮座の清神社(波多野邦彦宮司)の歳旦祭が波多野公一権禰宜により執り行われ、清神社総代や氏子らが玉串を奉奠した。歳旦祭を前に本殿前には多くの参拝者が並んだが、歳旦祭の始まりにあわせ令和二年の初詣の参拝が始まった。本殿前では参拝者のために火も焚かれたが、暖冬によるものか、例年とは違い、雪もなく穏やかな初詣となった。

支部
だより

七年前の平成二十五年には、日本全国

の年越しの情景を伝えるNHKの

全国放送「行く年、来る年」に伊勢

神宮や清水寺とともに清神社の

初詣と奉納神楽が取上げられ、全国

に生中継された。今年も新年を迎える

直前から、恒例となった吉田神楽団による

年越し奉納神楽が始まり、多くの参拝者が

楽しんだ。神楽は「滝夜叉姫」と「八岐大

蛇」が奉納されたが、「八岐大蛇」では素戔

鳴尊が八岐大蛇を退治する勇壮な舞に多く

の参拝者が見入っていた。参拝者の中には久し

振りに家族で帰省した人も多く、懐かしい

ふるさとの冬の奉納神楽を満喫していた。

(波多野邦彦 通信員)

